

予防接種を受ける前に必ず読んでください。

高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種の注意事項

予防接種は、高齢者の肺炎球菌感染症（肺炎など）の発病予防や重症化予防に有効です。

1. 予防接種を受ける際の注意

●過去に肺炎球菌の予防接種「ニューモバックス NP(23価肺炎球菌ポリサッカライドワクチン)」を受けたことがある人は、定期接種の対象とはなりません。

※過去5年以内にニューモバックス NP（23 価肺炎球菌ポリサッカライドワクチン）を接種されたことのある人が、再度接種された場合、注射部位の痛み等の反応が、初回接種時よりも強く出るとの報告があります。接種歴を必ず確認してから接種を受けてください。

●この予防接種は、接種を受ける法律上の義務はありません。
七尾市の接種券をご利用される場合は、ご本人の意思で接種を希望される方が対象となります。

●この予防接種を定期予防接種（助成が受けられる予防接種）として接種できる機会は生涯に1回となり、年齢により接種期間が決まっています。接種期間以外での接種は任意接種となり、市の助成を受けることはできません。

●健康状態の良いときに受けてください。

●この説明書をよく読み、わからないことは接種を受ける前に医師に質問しましょう。十分に納得できない場合には、接種を受けないでください。

●予診票は、接種をする医師にとって予防接種の可否を決める大切な情報です。接種を受ける方が責任を持って正確に記入するようにしましょう。

●予診票は、必ず黒ボールペンで記入してください。

2. 予防接種を受けることができない人

- ① 37.5℃以上の熱がある人
 - ② 重い急性の病気にかかっていることが明らかな人
 - ③ その他、医師が不適當な状況と判断した場合
- ※上記に該当される方は、医師にご確認ください。



3. 予防接種を受ける前に、医師とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液、発育障害などの基礎疾患を持っている人
- ② 今までにけいれんなどをおこしたことのある人
- ③ 今までに肺炎や喘息などによくかかり、免疫状態を検査して異常を指摘されたことのある人
- ④ ラテックス(乾燥天然ゴム)過敏症のある人

4. 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- 予防接種を受けたあと30分間は、急な副反応がおこることがあります。
医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- ワクチンの副反応は24時間以内に出現することが多いので、この間は体調に注意しましょう。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすことはやめましょう。
- 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- 体調に変化があった場合は、速やかに接種を受けた医療機関にお問い合わせください。

5. 副反応が起こった場合

予防接種の後、まれに副反応が起こることがあります。また、予防接種と同時に他の病気がたまたま重なって発症することがあります。

接種後、下記の症状（反応）が強く現れた場合は、医師の診療を受けてください。

◆接種後、通常起こりうる反応

接種した部位が痛みや熱、赤みをもってはれたり、わずかながら熱が出たり、筋肉痛、頭痛、全身のだるさなどがみられることがあります。

◆まれにおこる重い副反応

まれに報告される重い副反応としては、アナフィラキシー様反応、血小板減少、ギランバレー症候群、蜂巣炎様反応などが報告されています。

《予防接種健康被害救済制度》

高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種による健康被害が生じた場合、健康被害を受けた方からの健康被害救済に関する請求について、当該予防接種と因果関係がある旨を厚生労働大臣が認定したときは、市が健康被害に対する給付を行います。

【問い合わせ先】

七尾市健康福祉部健康推進課（パトリア3階）

☎53-3624